

船橋に備え置いてください！

志津川港の地域的情報（参考）

1. 志津川沼港周辺の気象・海象及び地域特性

- ・歌津埼と松島との間に湾入し、湾岸は湾曲が多く、湾内には後間や岩が散在して、景観に富むが、湾内の至る所に定置網やわかめなどの養殖施設が設置されている。
- ・春から夏にかけては三陸特有の濃霧が多発する。
- ・冬場は西高東低の気圧配置により、北または北西の風の季節風の影響を受けやすい。

2. 志津川港における港則法に基づく港長勧告基準

| 勧告の種類 | 発出基準等 |
|----------------|---|
| 警戒勧告 (第一体制) | ・気象庁が発表する気象警報・気象情報において、気仙沼地域が、おおむね24時間以内に、最大風速18m/s以上の強風になると予想される場合、又は避難等勧告が相当と認められる場合。 |
| 避難勧告 (第二体制) | ・気象庁が発表する気象警報・気象情報において、気仙沼地域が、おおむね24時間以内に、最大風速25m/s以上の強風になると予想される場合、又は避難等勧告が相当と認められる場合。 |

※勧告の内容については、別添をご覧ください。

3. 志津川港内での錨泊について

- ・志津川港内は狭隘であるため、原則錨泊はできません。
- ※他の航行船舶に支障をきたす
- ※養殖施設が多く走錨及び振れ回りによる同施設損壊の危険

緊急連絡先

気仙沼海上保安署 ☎0226-22-7084
気仙沼地方振興事務所水産漁港部漁港管理班 ☎0226-22-6825

気仙沼海上保安署ホームページ

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/miyagi/kesenuma/>



各海域(港)最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。

発達した低気圧等

| 区 分 | 条 件 | 勧 告 時 期 | 内 容 |
|-----------------|---|--|---|
| 警戒勧告 (第1体制) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象庁が発表する気象警報・気象情報において、気仙沼地域が、おおむね24時間以内に、最大風速18m/s以上の強風になると予想される場合 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 条件となる気象情報等の発表時 | <ul style="list-style-type: none"> ・ できる限り余裕のある時期に、係留索の増取り等の係留強化、船倉蓋や水密扉の閉鎖、小型船にあつては陸揚げ固縛等を行う。 ・ 港内に在泊することにより危険を生ずるおそれがあると予想される船舶は、できる限り余裕のある時期に出港し、低気圧の影響を受けない沖合い等の安全な海域に避難する。 <p>(様式3による)</p> |
| 避難等勧告 (第2体制) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象庁が発表する気象警報・気象情報において、気仙沼地域が、おおむね24時間以内に、最大風速25m/s以上の暴風になると予想される場合、又は避難等勧告が相当と認められる場合 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 直ちに荷役、作業を中止し、係留索の増取り等の係留強化、船倉蓋や水密扉の閉鎖、小型船にあつては陸揚げ固縛等を行う。 ・ 港内に在泊することにより危険を生ずるおそれがあると予想される船舶は、直ちに 出港し、低気圧の影響を受けない沖合い等の安全な海域に避難する。 <p>(様式4による)</p> |
| 勧告解除 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 勧告の基準となる条件が解除（又は変更）され、港内の安全が確認された時 | | <p>勧告を解除する。</p> <p>(様式5による)</p> |

※各勧告の内容は、船長が自船の性能、気象・海象等のあらゆる条件を考慮して行う最善の判断による措置を妨げるものではない。